



生徒会の活動 復興支援の貯金箱づくりを提案



(生徒会の話し合い)

東日本大震災の被災地に向けた支援が、補習校でも子どもたちや、PTA・保護者の中から、様々な形でその輪が大きく広がっています。

新学期以降、生徒会役員や中3生徒で「義援金募集活動」を軸に検討を重ねてきた支援の具体策が、先週の生徒会で5年生以上の生徒たちに提案され、実行に移されることになりました。、本日は、全校朝礼にて、4年生以下の生徒たちにも具体的に説明をし、

保護者の皆様方にもご理解いただくため、この後の保護者朝礼で生徒会役員により直接説明を予定しています。

生徒会が提唱する「義援金募集活動」の特色は、子どもたちが取り組める身近な復興支援として「貯金箱作り」を提唱したことです。

まずは、子どもが各自で、ティッシュ箱などを利用して貯金箱を作り、

①少しでもこれまで貯めた自分たちのお小遣いを「復興に役立つように」との願いで少しの額でも貯金箱に入れる。

②また、自ら進んで家のお手伝いをしたり、地域で活動したりすることで得たお小遣いを「復興支援の貯金箱」に入れることでもよい。例えば、家庭では、食事や洗濯のお手伝い、掃除や片付けのお手伝い、草刈や肩もみ、時には、地域でベビーシッターやカーウォッシュ、等、子どもたちが考え、創り出した復興支援の活動を大人が認めて、お小遣いの援助をする。

③目標金額を自分で決め、6月末に1回目の義援金の回収をする。といった提案です。

自分たちに身近なことで何が出来るか、ご家庭でもご相談していただき、いろいろなお手伝いや活動を話し合ってください、長期的に取り組むものとして実施していただければ、生徒会の義援金活動の主旨に沿うものだと思います。ご家庭でのご理解とご協力をお願いします。



(各自製作の貯金箱)

CRT 標準学力検査の見直しと学習の把握を

先週又は本日に、3月19日に実施しました CRT 学力検査の問題と採点結果を返却します。昨年度の学年の学習理解度が分かりますとともに、どこにつまづきがあるのか、どのような傾向の問題が良く出来ているか、逆に弱いのか、お子様の課題も明らかになります。よく出来、がんばったところは褒め、間違っているところは、一緒に問題を読み、正しい解答を書き込ませてください。学校では、後日、先生方の研修会で学力検査の分析をし、皆様にはお知らせいたします。